

飛越能ユネスコ5大祭常設展示館等で好評発売中!!



高山祭



古川祭



高岡御車山祭



城端曳山祭



青柏祭

飛越能ユネスコ5大祭  
常設展示館等周遊

# 得とく チケット

5館合計

¥1,000

使用期限  
2020年  
3月31日まで

チケットの特典①

ユネスコ5大祭  
限定オリジナル  
ピンバッジを集めよう!

各施設で  
1個 プレゼント!



なくなり  
次第終了!

さらに



チケットの特典②

## 飛越能ユネスコ5大祭常設展示館等周遊 得とくキャンペーン

5館を巡って各地の豪華賞品が当たるキャンペーンに参加しよう!

**応募期間** 2019年4月1日～2020年3月31日 ※当日消印有効

**応募方法** 各館の受付にて入館の際にスタンプを押し、2館以上のスタンプを集めてハガキを投函して下さい。  
※スタンプについては各館スタッフにお尋ねください。

2館以上のスタンプを集めると抽選で各地の特産品をプレゼント!!

- 1等 各市プレミアム特産品 5名  
(KAGOペルフラワー、飛騨牛しゃぶしゃぶ、飛騨牛クーポン、能登寿司クーポン券、しけ網 など)
- 2等 各市特産品3,000円相当 10名
- 3等 各市特産品1,000円相当 20名

**応募資格** 2館以上のスタンプを集めた方  
※2館以上は3等以下、3館以上は2等以下、5館達成者は1等以下が抽選対象となります。

- 応募にあたり
- ・応募スタンプが不足している場合、また記入漏れがある場合、応募は無効となりますのでお気を付けてください。
  - ・応募の際はチケットを切り離しの上、62円切手を貼ってご応募ください。
  - ・景品は選べませんのでご了承ください。・特産品の金額は目安です。
  - ・厳正なる抽選の上、当選者を決定致します。抽選結果は発送をもってかえさせていただきます。  
(2020年4月中旬頃抽選予定)



※特産品イメージ



## 青柏祭の曳山行事

毎年5月3日から5日までの3日間、七尾では青柏祭が行われます。高さ約12m、総重量20tの日本で最大級の大きさを誇る、通称「でか山」と呼ばれる曳山が奉納されます。でか山には、舞台かざりの場面のどこかに一本の若松を立てて、神々の降臨を仰ぎ、商売繁盛や諸々の悪疫の退散を祈り、併せて豊かな日々を暮らしも祈念します。でか山のはじまりは、都の祇園山鉾にならって文明5年(1473)国祭りの青柏祭に曳山(山車)を奉納したのがはじまりと伝えられています。



## 花嫁のれん館

- 入館料 高校生以上 550円・小中学生 250円  
幼児 無料/団体(20名以上)450円
- 営業時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 年末年始(12月29日から1月3日)  
展示替え期間
- TEL.0767-53-8743

※現在、青柏祭でか山に関する常設展示館がないため、地域の特色ある展示館をご紹介します。



## 城端神明宮祭の曳山行事

毎年5月4日(宵祭)、5日(本祭)に行われる越中の小京都・城端の春を彩る、城端神明宮の祭礼。先頭に立つ獅子舞と鉦が悪霊を鎮め邪鬼を払い、続く傘鉦が神霊をお迎えします。その後を庵屋台の情緒あふれる庵唄、伝統の城端塗の粋を尽くした曳山が続きます。夕刻からは提灯山となり、日中とは違う風情が楽しめます。また、神様を迎える6箇所(山宿)が見られる宵祭りも必見です。



## 城端曳山会館

- 入館料 一般 510円、大学・高校生 300円、  
中学生以下 無料
- 営業時間 9:00~17:00
- 休館日 12月29日から1月3日
- TEL.0763-62-2165

## 高岡御車山祭の御車山行事

毎年5月1日に行われる高岡關野神社の春季例大祭の行事であり、その歴史は1588年、豊臣秀吉が後陽成天皇を聚楽第に迎え奉る時に使用した御所車を前田利長公が1609年、高岡城を築くにあたり町民に与えたのが始まりと伝えられています。高岡關野神社の祭礼日に神輿と共に曳廻され、以来、今日に至るまで高岡の発展とともに継承されてきました。御車山は御所車形式に鉦を立てた特殊なもので、高岡の金工、漆工等の優れた工芸技術の装飾が車輪や高欄、長押等に施された、日本でも屈指の華やかな山車です。



## 高岡御車山会館

- 入館料 一般(高校生以上) 300円  
団体(20名以上) 1人につき240円
- 営業時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 火曜日(火曜日が祝日のときは翌平日)、  
年末年始
- TEL.0766-30-2497
- ※料金は変更となる場合があります。



## 古川祭の起し太鼓

数百人のさらし姿の裸男達が担ぐ櫓が町中を練り歩き、町の辻々では「付け太鼓」と呼ばれる小太鼓を持った裸男達が我先に櫓に付けようと次々に突っ込み激しい攻防戦を繰り広げる。起し太鼓の起源は祭りの準備を始める合図として、太鼓をたたき町内の氏子の眠りを覚まして廻ったことによるといわれている。

## 古川祭の屋台行事

古川祭屋台は、江戸からもたらされた屋台に飛騨の匠の技を加え、京都の雅やかさが融合している。町内各所で屋台が曳き揃えられ、夜祭では提灯を灯しながら蔵かに曳行し、日中とは違った表情を見せる。



## 飛騨古川まつり会館

- 入館料 大人 500円、小人 300円
- 営業時間 9:00~17:00(12月~2月は16:30まで)
- 休館日 なし
- TEL.0577-73-3511

※飛越能とは  
飛騨・越中・能登の頭文字をとった3県にまたがる  
広域エリアです。



## 高山祭の屋台行事

高山祭とは、毎年4月14日・15日に開催される春の高山祭(山王祭)と10月9日・10日に開催される秋の高山祭(八幡祭)の総称で、16世紀後半から17世紀頃に始まったとされます。高山祭では「動く陽明門」とも称される屋台が春には12台、秋には11台曳き揃えられ、巧みな人形の動きを披露するからくり奉納や、仕掛けが施された戻し車、屋台を飾る彫刻や見送り幕など、匠の技が生きています。飛騨人の意気が高まる高山祭は、高山の揺るぎない誇りです。



## 高山祭屋台会館

- 入館料 (一般)大人 900円、高校生 550円、小中学生 450円  
(団体)大人 800円、小中学生 400円(20人以上)
- 営業時間 3月~11月 9:00~17:00 12月~2月 9:00~16:30
- 休館日 なし ■TEL.0577-32-5100

バスのお問合せ先はこちら

- 世界遺産バス わくライナー 加越能バス乗車券センター TEL.0766-21-0950
- 白川郷・五箇山ルートきっぷ 濃飛バス予約センター TEL.0577-32-1688

チケット販売場所

- 【高山市】高山祭屋台会館、高山濃飛バスセンター ツアーデスク
- 【飛騨市】飛騨古川まつり会館、飛騨市観光案内所
- 【高岡市】高岡御車山会館、新高岡観光交流センター  
あいの風鉄道高岡駅加越能バス乗車券センター
- 【南砺市】城端曳山会館、JR城端駅内(一社)南砺市観光協会
- 【七尾市】花嫁のれん館